

信金インター/欧州金融市場セミナー

欧州金融市場の見通し 欧州金融機関決算のポイント

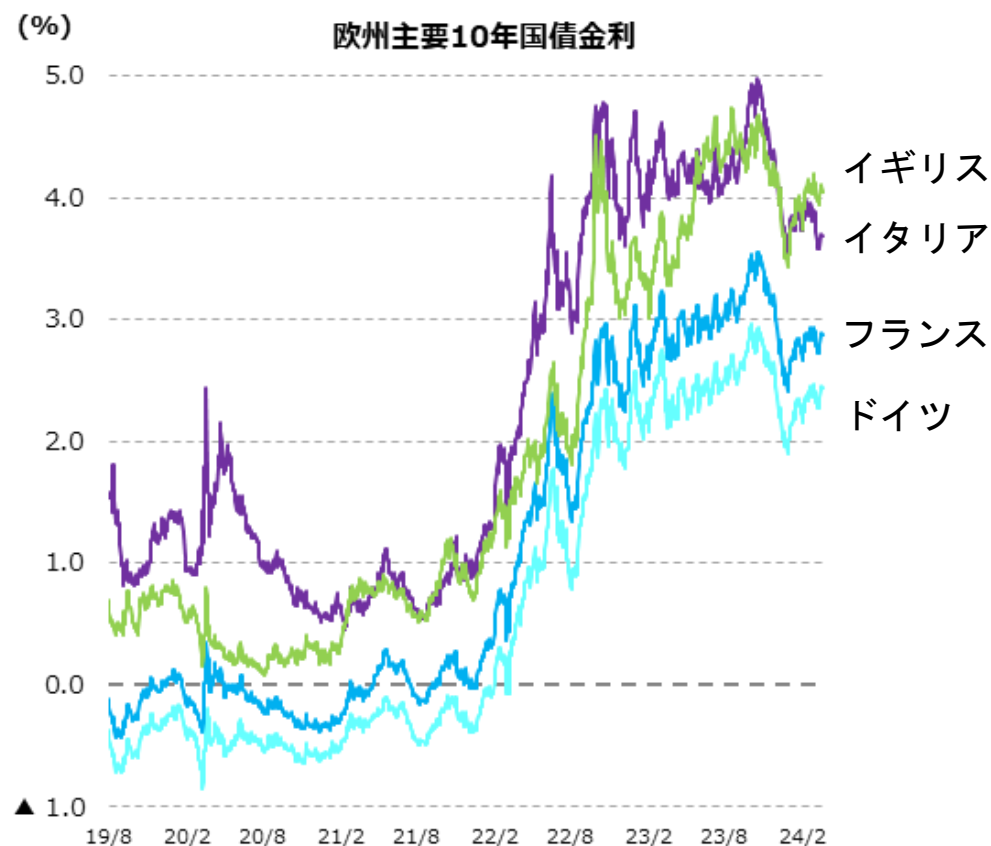
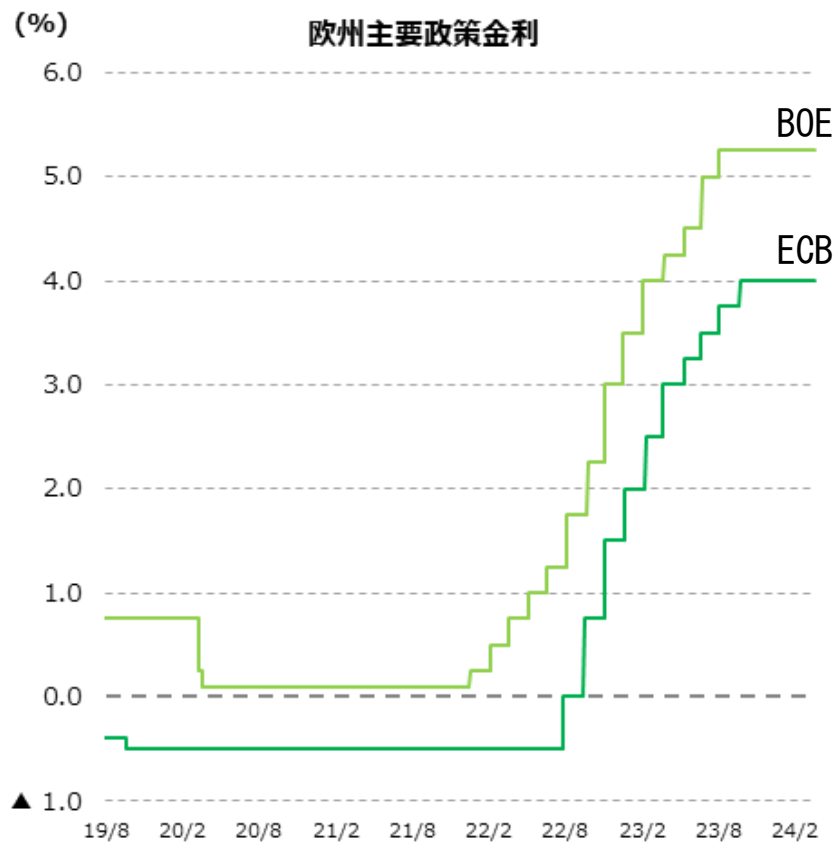
2024年3月21日



信金インターナショナル



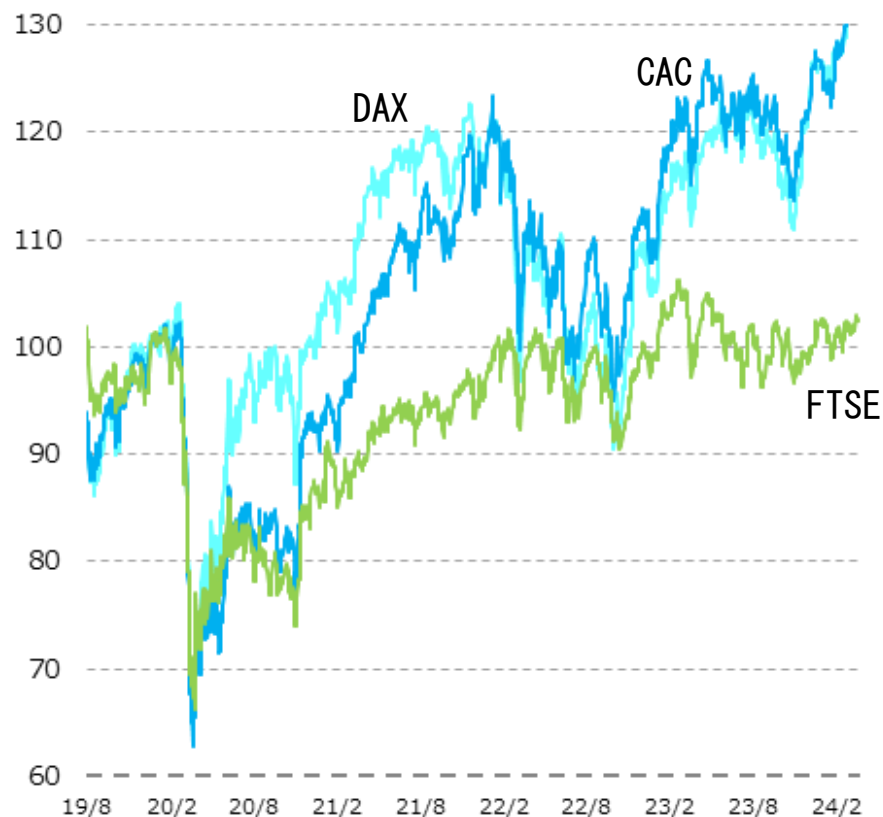
- ・インフレ2%目標への推移を確認しつつ、利下げ時期を探るステージへ
- ・利下げ織込みの度合いに応じ、長期金利が変動



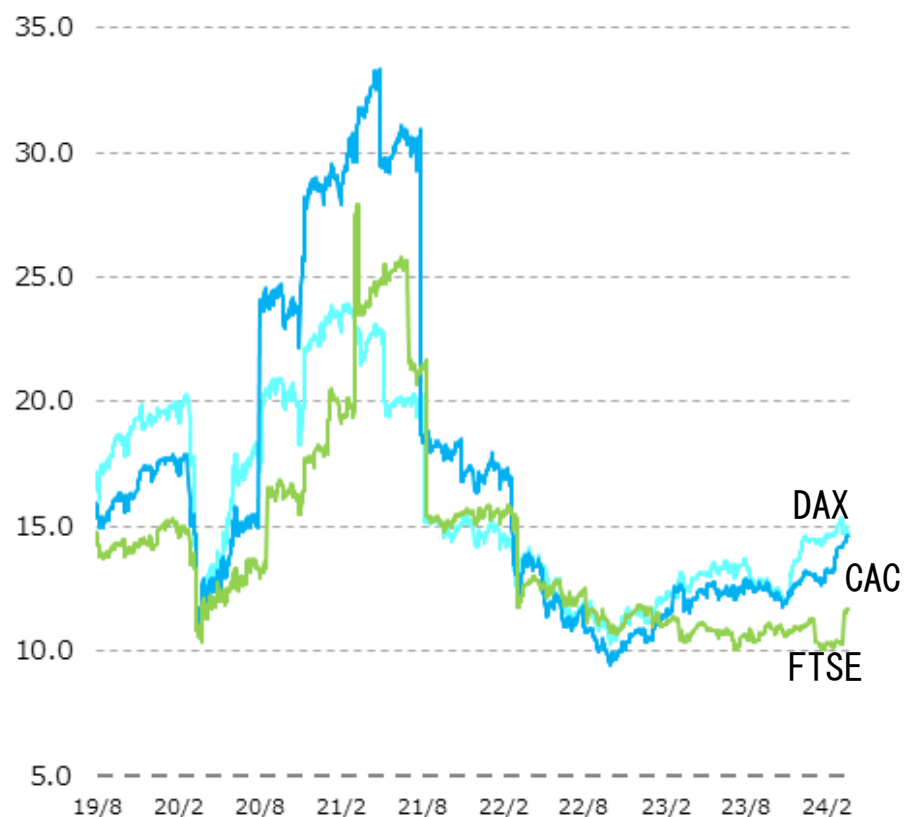


- ・ドイツ、フランスは堅調な企業業績や長期金利低下に伴い、高値更新
- ・イギリスは、ブレクジットや高インフレの影響もあり上値が重い

欧州主要株価指数 (2019年末 = 100)

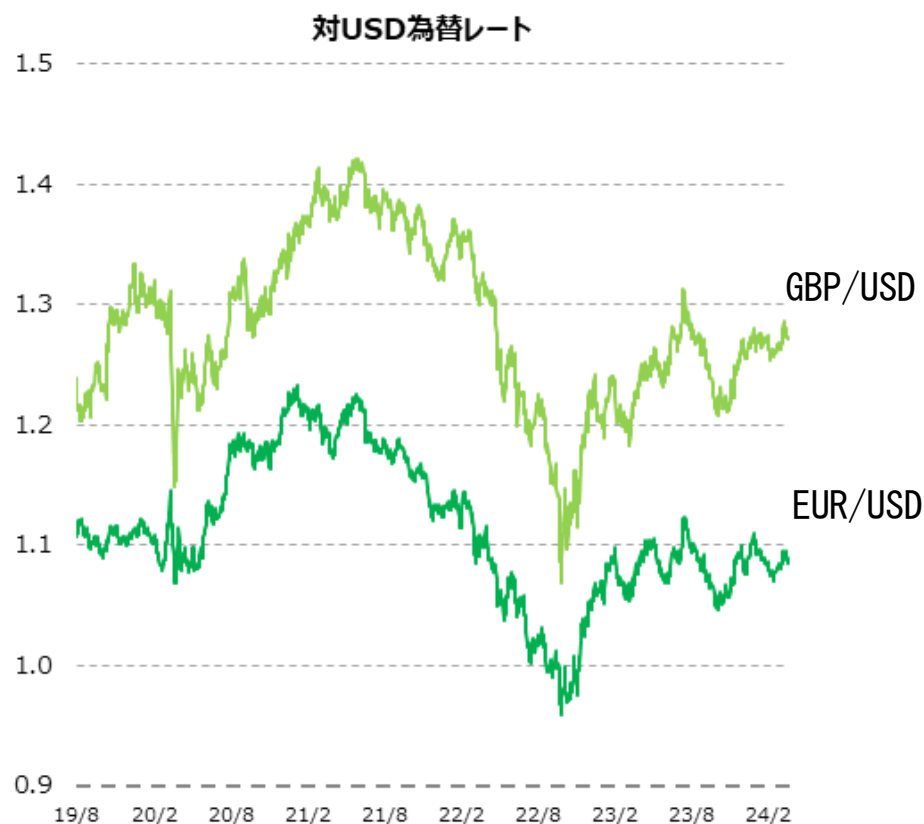
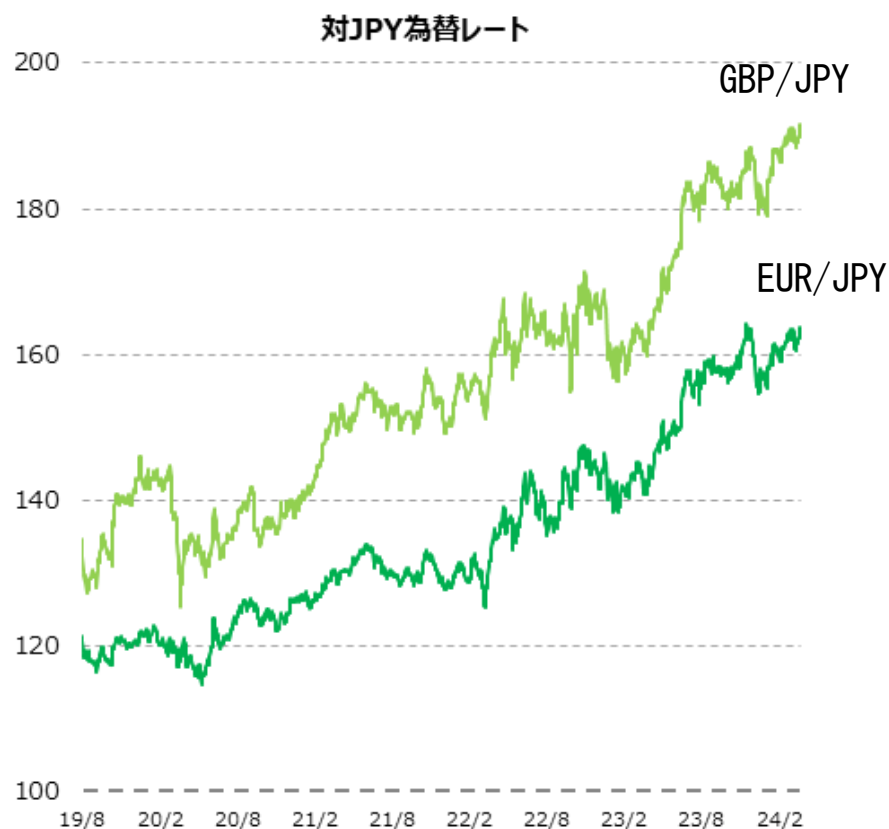


株価指数予想PER





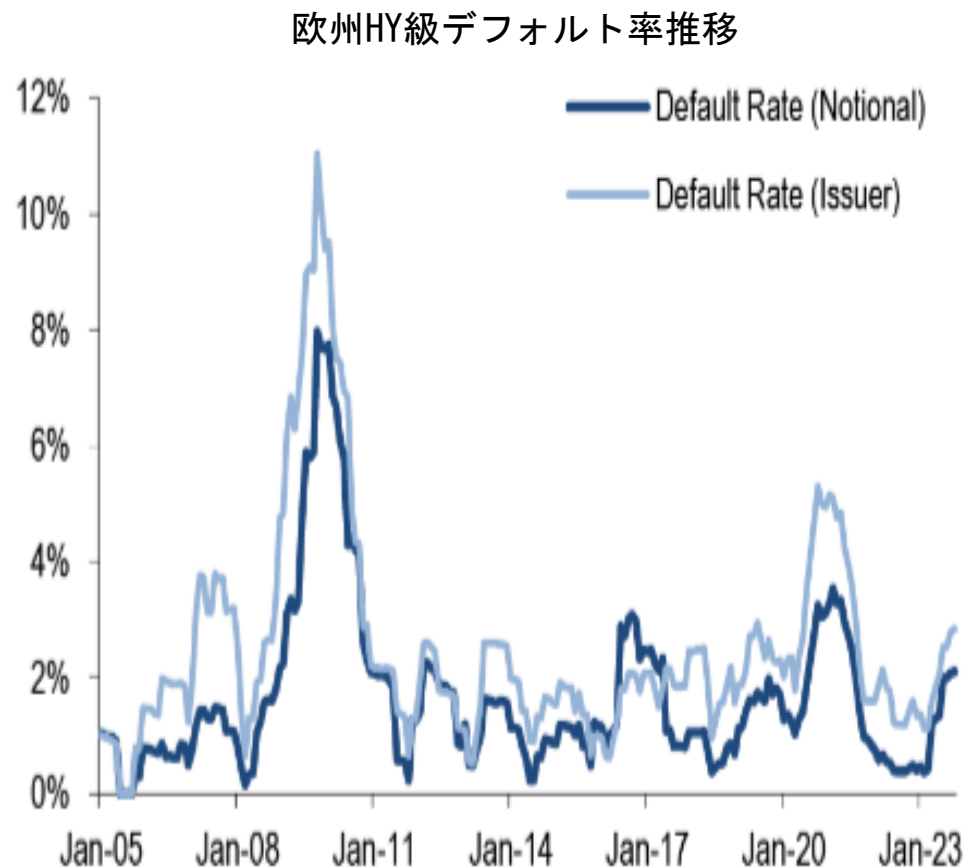
- ・ドル高の影響で欧州通貨の円安トレンドは継続
- ・対ドルでは方向感の無い展開も、米国との利下げ時期の乖離によって動意も



クレジット市場



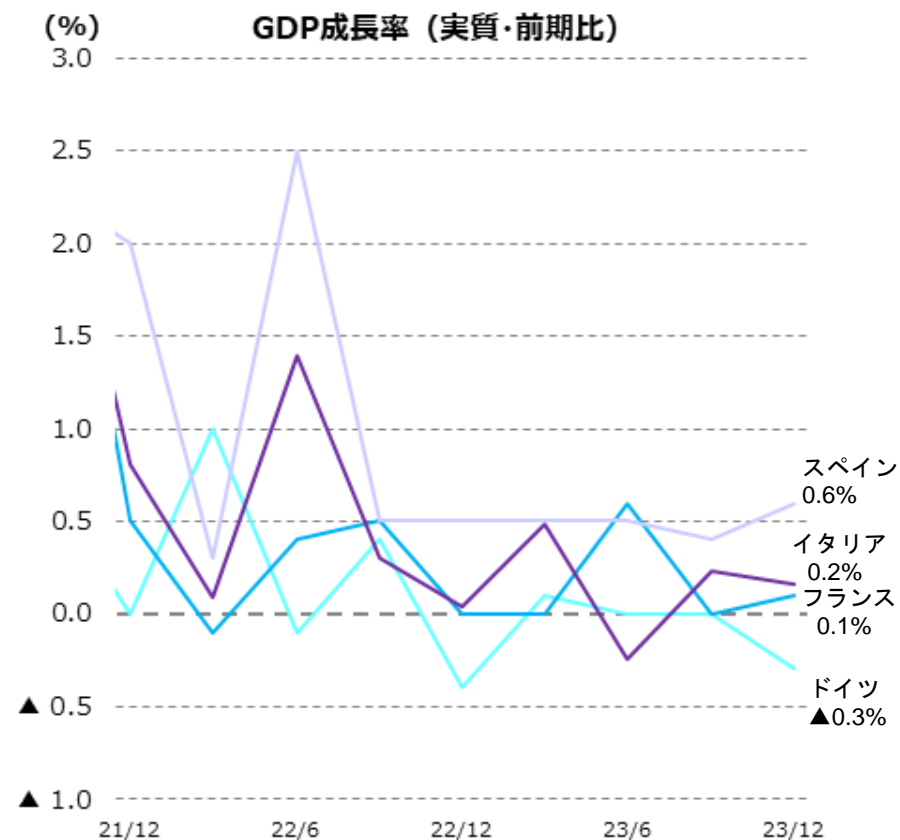
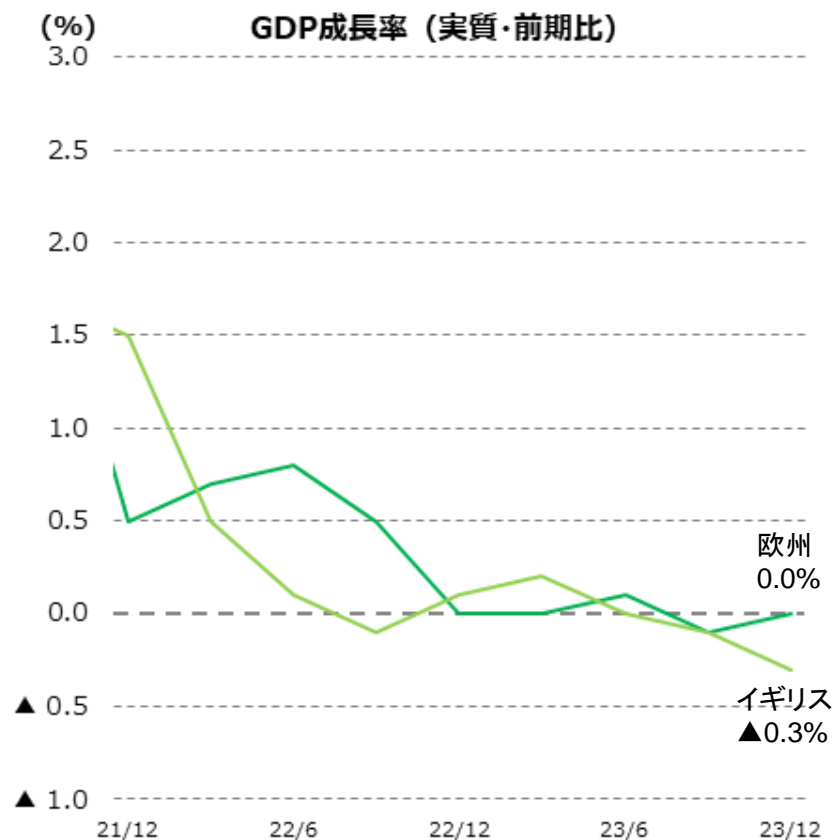
- ・ クレジットスプレッドはIG・HYとも利上げ実施前の水準近辺までタイトニング
- ・ デフォルト率はHY級で緩やかに上昇



景気動向



- ・ 欧州、英国ともゼロ近辺の成長率が継続し、英国はリセッション入り
- ・ 欧州は、国別で見ると、ドイツが弱い一方、南欧は堅調

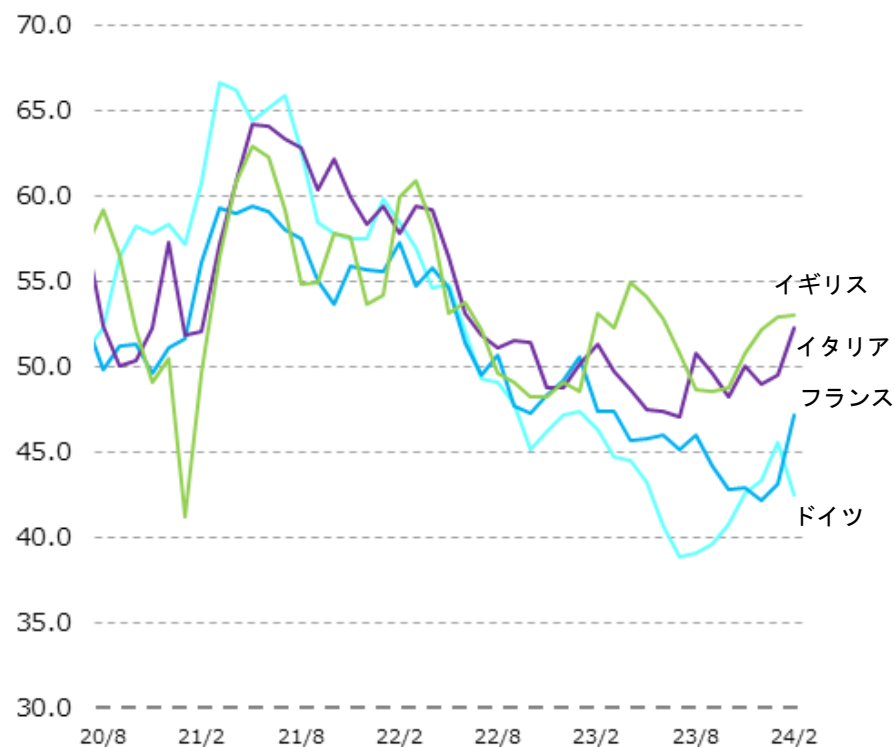


景気先行指標

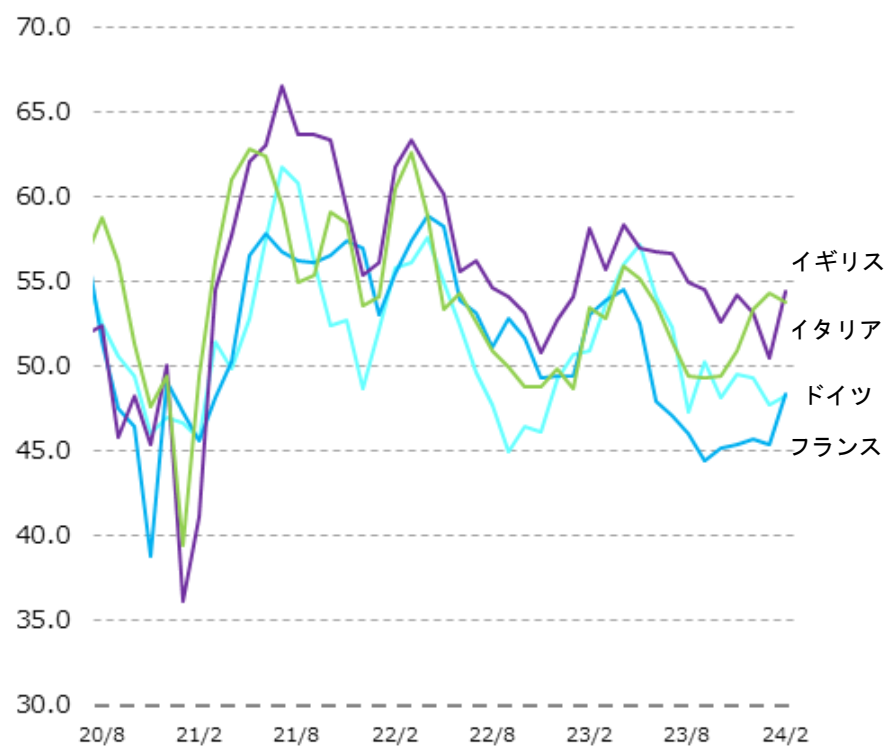


- ・ 製造業は、昨年夏頃から悪化したが、年明けからリバウンド基調
- ・ サービス業は、製造業と比べると底堅く概ね横ばい圏で推移

製造業PMI



サービス業PMI



現地の景況感



- ・パブやレストランは引き続き繁盛
- ・欧州経済の景気後退懸念は根強いものの、現地で深刻な不況感は限定的



英 ロンドンのパブでラグビーを観戦する人々

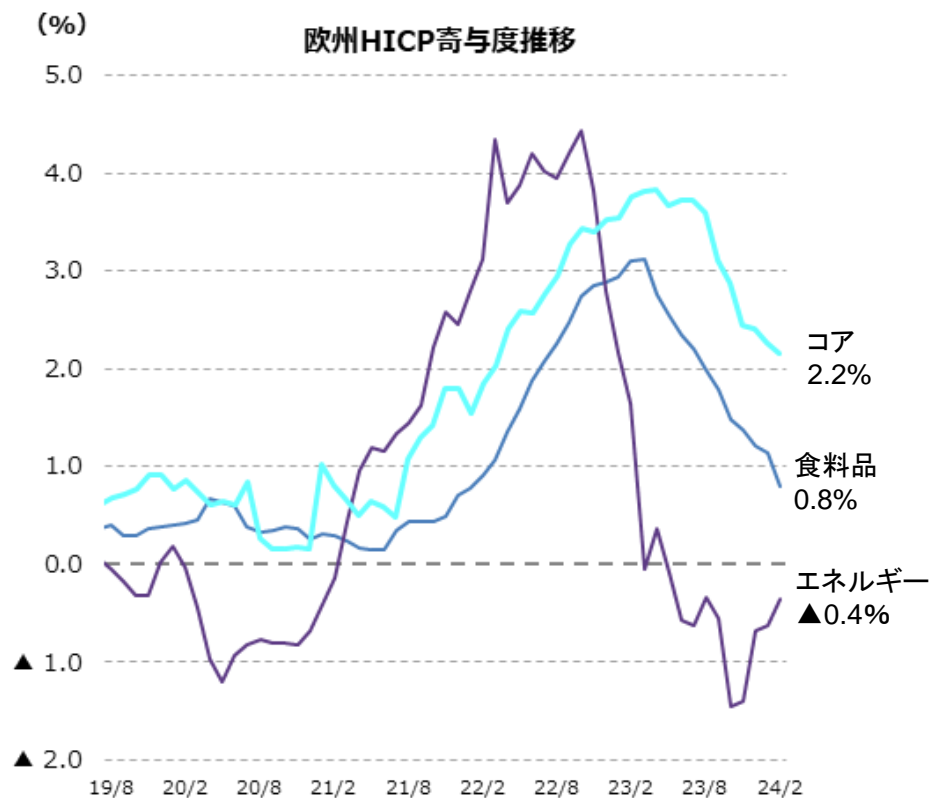
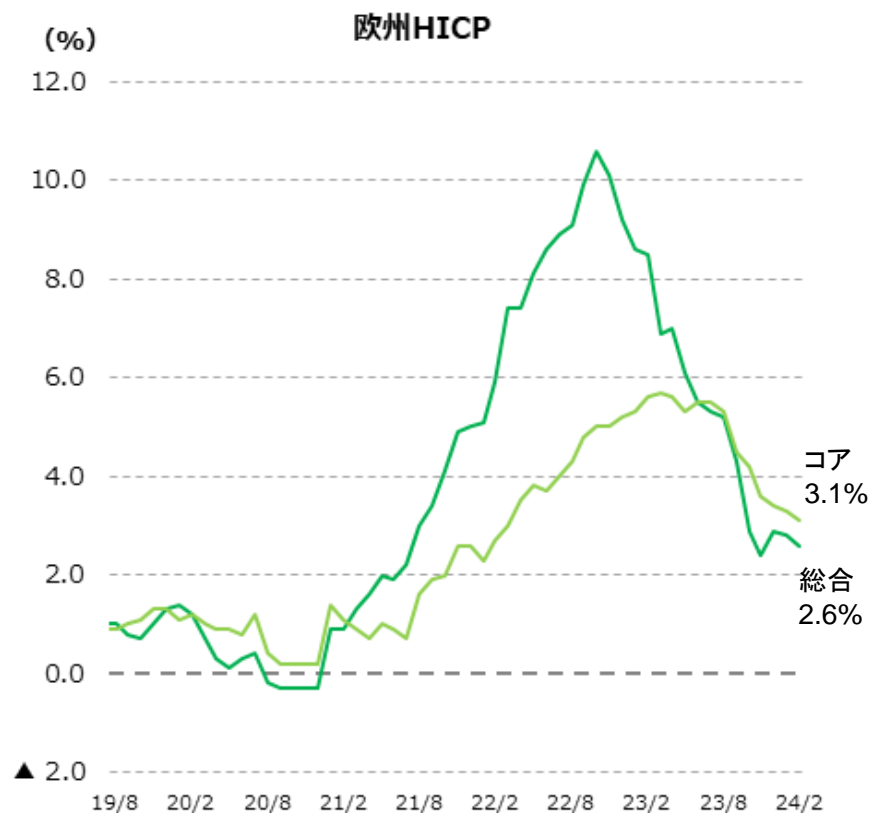


仏 多くの人で賑わうフランスのレストラン

インフレ率



- ・インフレ率は、エネルギーの下落により昨夏をピークに下落トレンドに転換
- ・サービス部門のインフレ率が高止まりし、コアの下落は緩慢なペース



現地のインフレ体感



- ・ 昨年に引き続き、スーパーなどでは割引が多い印象
- ・ 食料品に留まらず、衣料品等幅広い商品で割引を実施



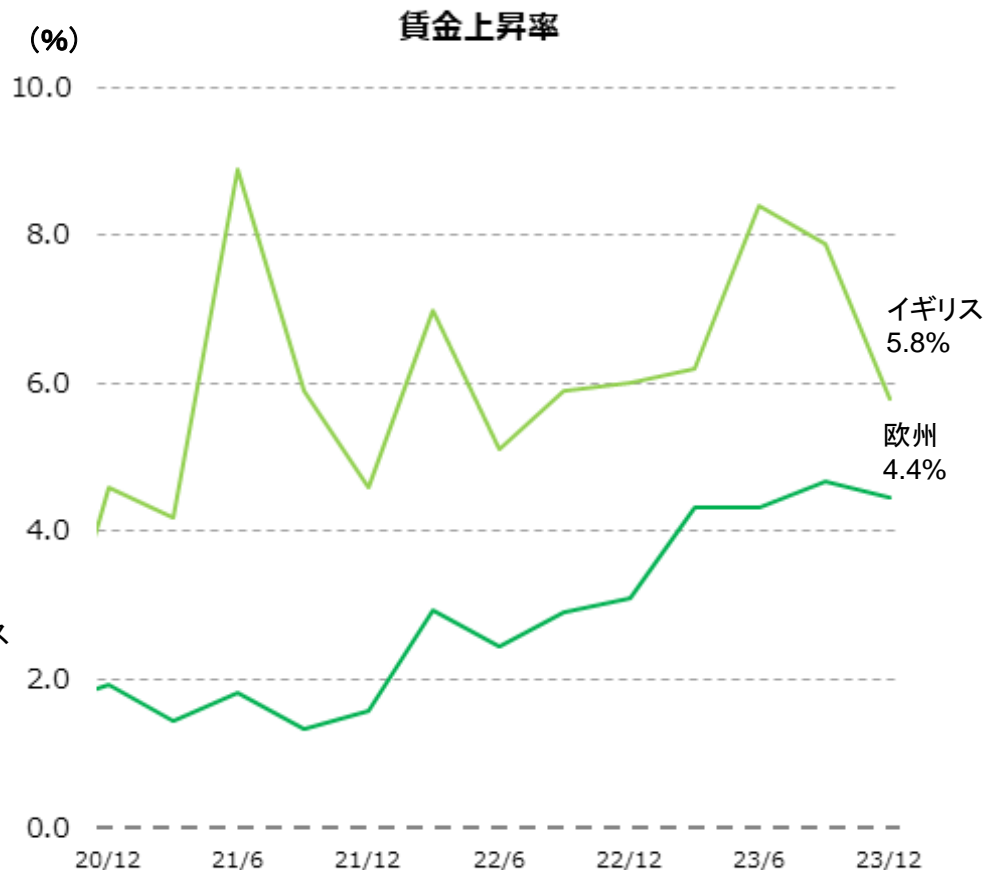
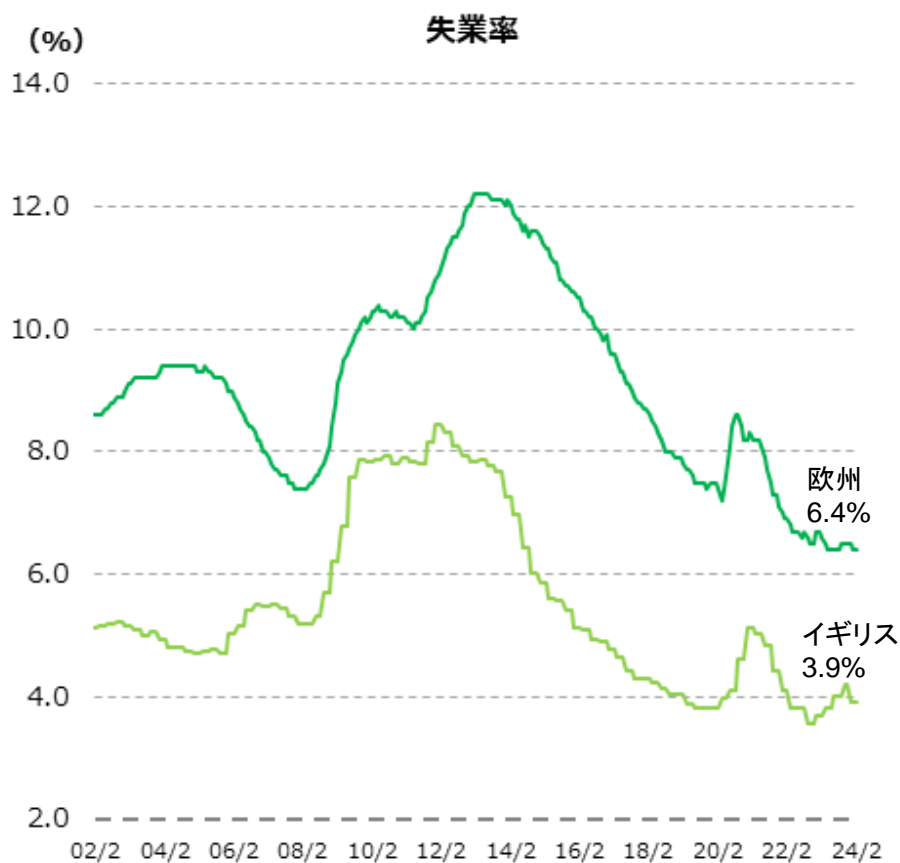
仏 年明けより割引セールを実施する仏大手スーパー



英 大手スーパーTescoでは食料品だけでなく衣料品の割引も



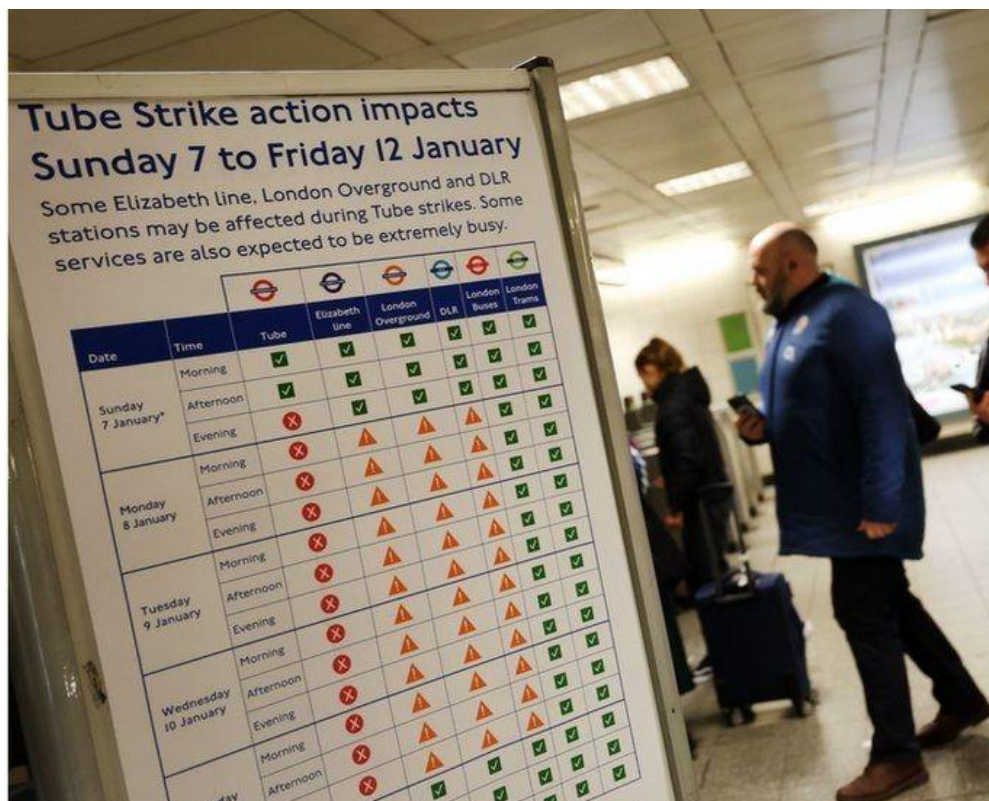
- ・ 景気後退懸念があるものの、失業率は依然として歴史的低水準
- ・ ストライキの結果、賃金上昇率は右肩上がりで個人消費を下支え



現地の労働市場



- ・ 散発的ではあるが、年明け以降も賃上げを求めてストライキが欧州各国で実施されており、引き続き賃金上昇のトレンドは継続



英 年明け後も地下鉄にてストライキを実施

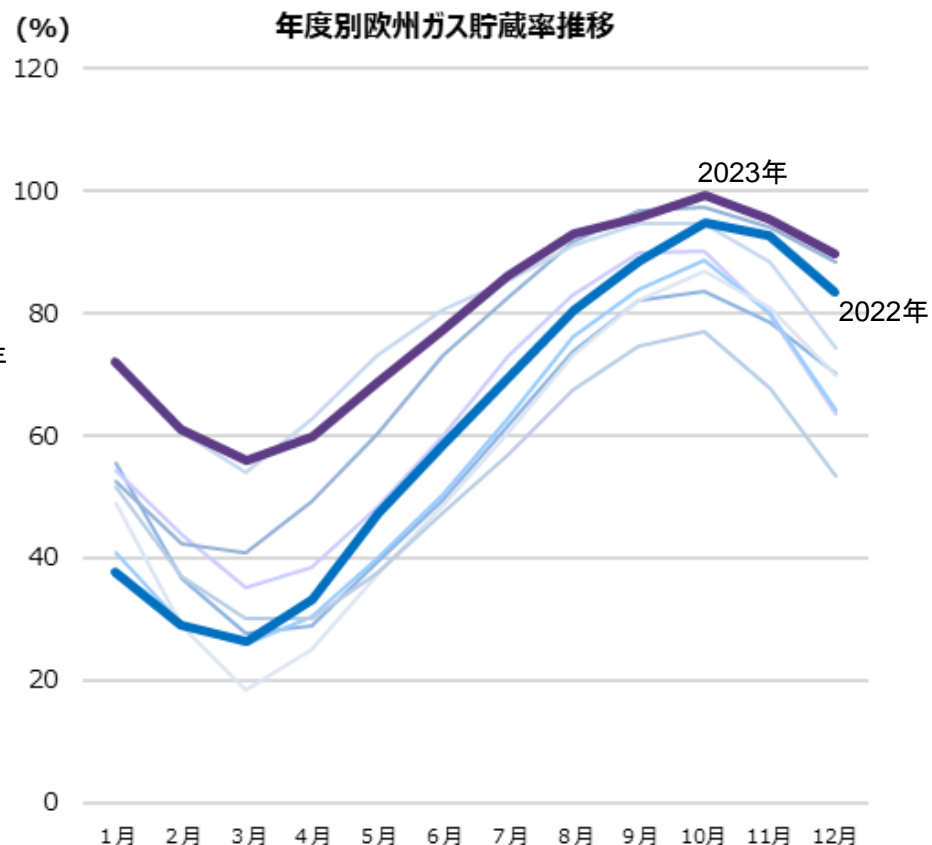
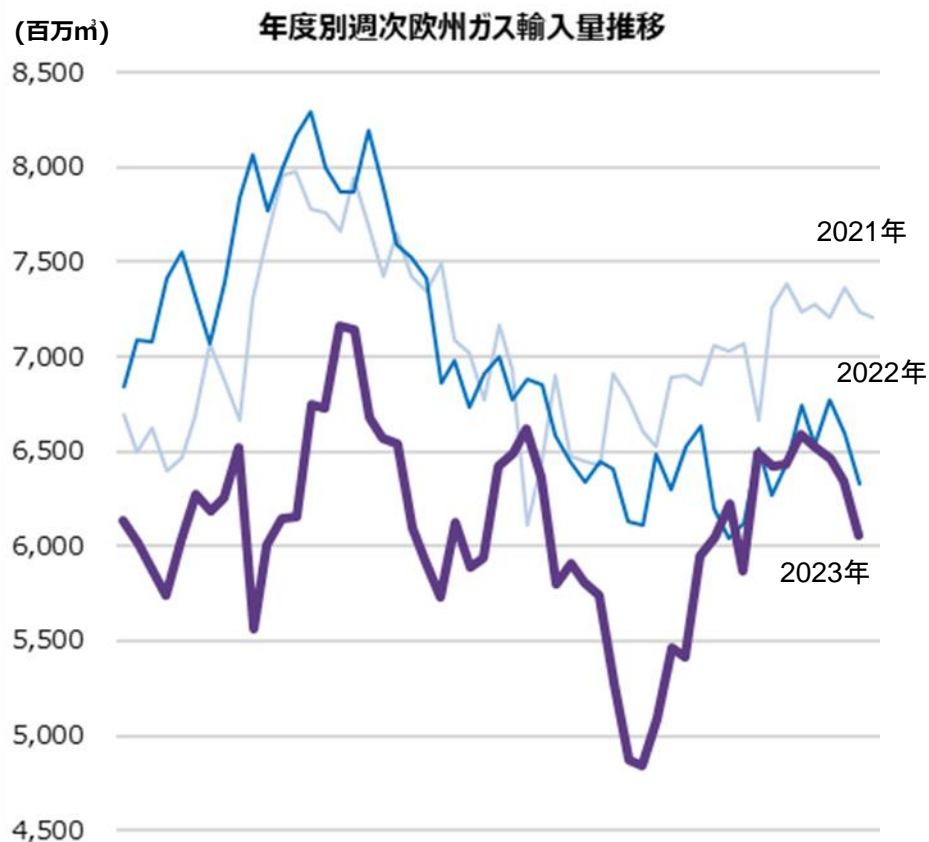


独 ストライキを実施するルフトハンザ地上乗務員

エネルギー市場



- ・ 欧州のガス輸入量は、ロシア以外からの輸入や再生エネ開発、節電で減少
- ・ 中東紛争による輸入量の急激な変化も特段観察されず
- ・ ガス貯蓄率は、過去最高ペースで推移



各機関のユーロ圏経済見通し



- ・ 利上げ効果浸透でインフレは2024年に急速に低下、2025年には2%近傍へ
- ・ 景気後退は見込まれておらず、2025年には1%超の経済成長回復へ

インフレ	2024.12	2025.12	2026.12
ECB	2.3%	2.0%	1.9%
IMF	2.8%	2.1%	-
OECD	2.6%	2.3%	-
Bloomberg予想	2.3%	2.1%	2.0%

失業率	2024.12	2025.12	2026.12
ECB	6.7%	6.6%	6.6%
IMF	-	-	-
OECD	6.6%	6.5%	-
Bloomberg予想	6.7%	6.6%	6.7%

コアインフレ	2024.12	2025.12	2026.12
ECB	2.6%	2.1%	2.0%
IMF	-	-	-
OECD	2.6%	2.2%	-
Bloomberg予想	2.5%	2.1%	2.1%

GDP成長率	2024.12	2025.12	2026.12
ECB	0.6%	1.5%	1.6%
IMF	0.9%	1.7%	-
OECD	0.6%	1.3%	-
Bloomberg予想	0.6%	0.7%	1.5%

公表時期

ECB：2024年3月、IMF：2024年1月、OECD：2024年2月



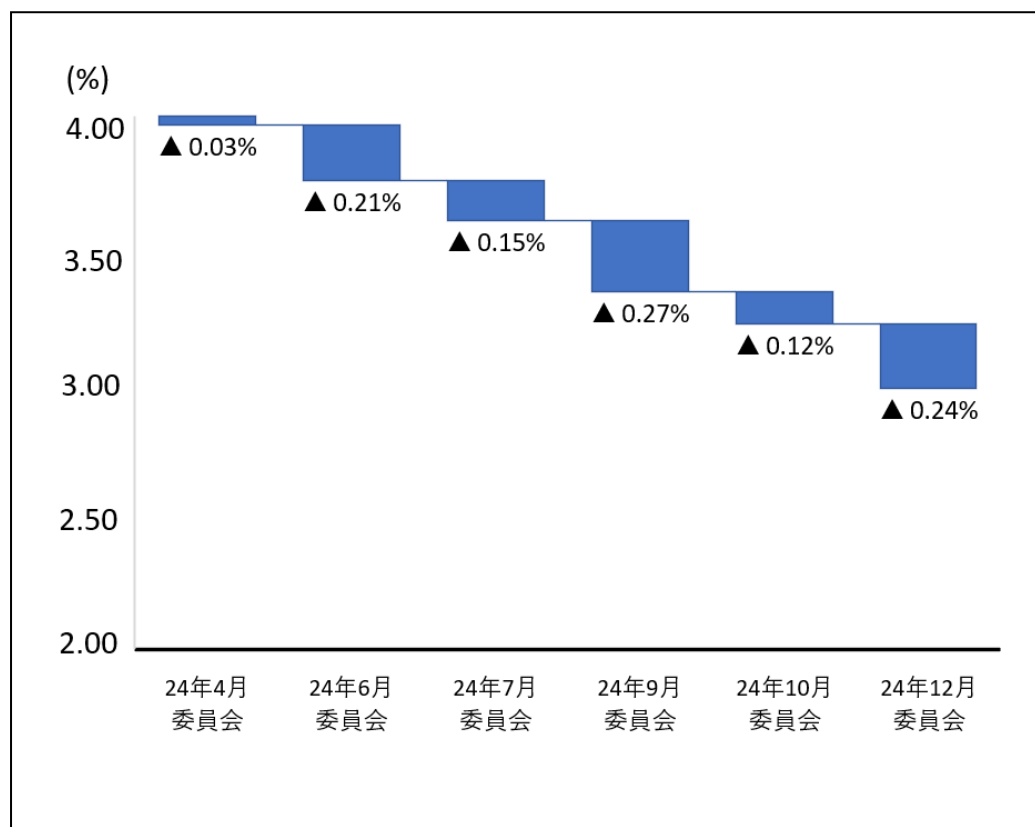
金融政策ツール	実施内容
政策金利関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 限界貸出ファシリティ金利 : 4.75% (→4.40%※) ・ 主要リファイナンスオペ金利 : 4.50% (→4.15%※) ・ 預金ファシリティ金利 : 4.00% ※オペ見直し ・ 最低準備預金への付利 : 0.00% 9/18以降適用
資産購入プログラム (APP)	<ul style="list-style-type: none"> ・ APP元本償還再投資は完全停止 (残高約29,672億EUR (2024年2月末時点))
パンデミック金融購入プログラム (PEPP)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2024年上期まで再投資を実施 ・ 2024年下期から月平均75億EURの再投資額削減 ・ 2024年末に再投資を完全停止 (残高約16,649億EUR (2024年2月末時点))
資金供給オペ (TLTRO等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 流動性施策の金融政策に関する影響を定期評価 ・ TLTROの実施なし (残高約3,980億EUR (2024年2月末時点))
債券市場分断化防止措置 (TPI)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金融政策の伝達に深刻な脅威となる不当かつ無秩序な市場変動に対して利用可能

ECBの利下げ見通し



- ・ 市場の年内の利下げ織り込み幅は、昨年末に1.50%に達した後、インフレ率の上振れやECB高官のけん制発言等で0.75~1.25%程度で推移
- ・ 3月会合後の記者会見で、ラガルド総裁からは6月利下げを示唆する発言も

市場でのECB利下げ織り込み状況



- ・ 利下げの議論はなかった。
- ・ 賃金と企業利益の動向にとりわけ強く注意する必要がある
- ・ 4月にはもう少しデータが出てくるだろうが、6月には更に多くのデータが出そろうだろう。

(ラガルド総裁(中立派)、3/7)

直近のECB高官発言



- ・ ECB高官からは4月または6月の利下げ開始を示唆する発言が多く見られるが、中立派からタカ派に属する高官は6月利下げの可能性を強調



- ・ インフレが抑制されたと確信するには、さらに多くのデータを政策委員会が必要としている。
- ・ 急ぐことは賢明でも有益でもない。
- ・ 新たな予測が入手可能になる6月になって初めて、必要な水準の自信を得ることができる。
- ・ 円滑で安定した政策緩和サイクルを支持している。

(カジミール スロバキア中銀総裁(タカ派)、3/11)

- ・ 春に最初の利下げが行われる可能性が非常に高く春とは4月から6月21日までだ。

- ・ 今から来年にかけてインフレ率を2%にもどせるという確信を深めている。

- ・ 我々には、近いうちに利下げをするという幅広いコンセンサスがあり、これは緩やかな利下げへのコンセンサスだ。

(ビルロウドガロー フランス中銀総裁(中立派)、3/8)



ECB理事会メンバー一覧①



・ ECB執行部（投票権毎回あり）の立場は中立派が多数

	氏名	任期	出身国	立場
	ラガルド総裁	2027年10月	フランス	中立
	デギンドス副総裁	2026年5月	スペイン	中立
	レーン理事 (エコノミスト)	2027年5月	アイルランド	中立
	シュナベル理事	2027年12月	ドイツ	中立
	エルダーソン理事	2028年12月	オランダ	中立
	チポローネ理事	2031年10月	イタリア	ハト

ECB理事会メンバー一覧②



・理事会メンバーは、タカ派、ハト派で分かれ、全体としてややタカ派優勢

グループ1（5名中4名投票権あり）

氏名	出身国	立場	投票権		
			4月	6月	7月
ナーゲル	ドイツ	タカ	○	○	
ビルロワドガロー	フランス	中立		○	○
パネッタ	イタリア	ハト	○	○	○
デコス	スペイン	ハト	○	○	○
クノット	オランダ	タカ	○		○

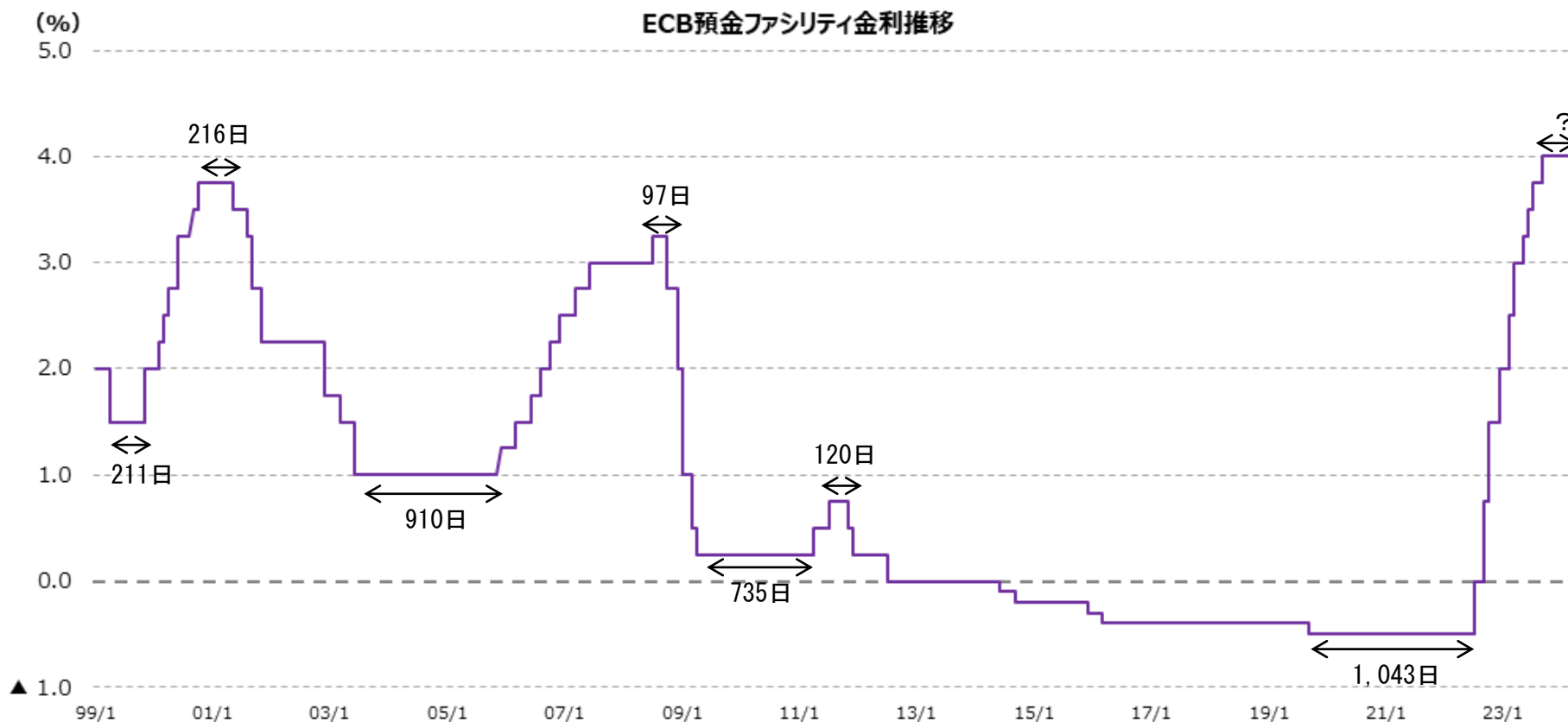
グループ2（15名中11名投票権あり）

氏名	出身国	立場	投票権		
			4月	6月	7月
ホルツマン	オーストリア	タカ	○	○	○
ウンシュ	ベルギー	タカ		○	○
センテノ	ポルトガル	ハト	○	○	○
レーン	フィンランド	中立		○	○
ライニッシュ	ルクセンブルク	中立	○	○	
ミューラー	エストニア	タカ		○	○
カザークス	ラトビア	タカ	○		
シムカス	リトアニア	タカ	○	○	
マクルーフ	アイルランド	中立		○	○
ストゥルナス	ギリシャ	ハト	○		○
ヘロドトウ	キプロス	ハト	○		
シクルナ	マルタ	ハト	○	○	○
バスレ	スロベニア	タカ	○	○	○
カジミール	スロバキア	タカ	○	○	○
ブイッチ	クロアチア	タカ	○		○

ECBの政策金利転換サイクル



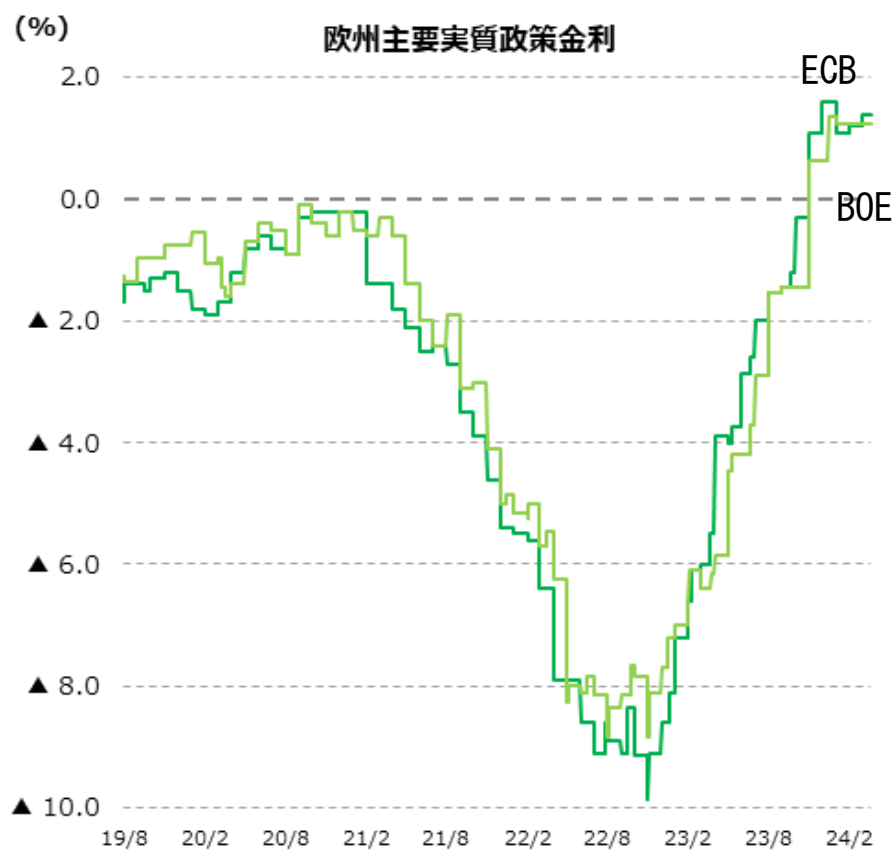
- ・ ECBの政策金利転換サイクルは平均で476日
- ・ 最終利上げから利下げ転換のサイクルに限れば平均で144日だが、過去3回中2回はリーマンショックや欧州債務危機といった市場のショックあり



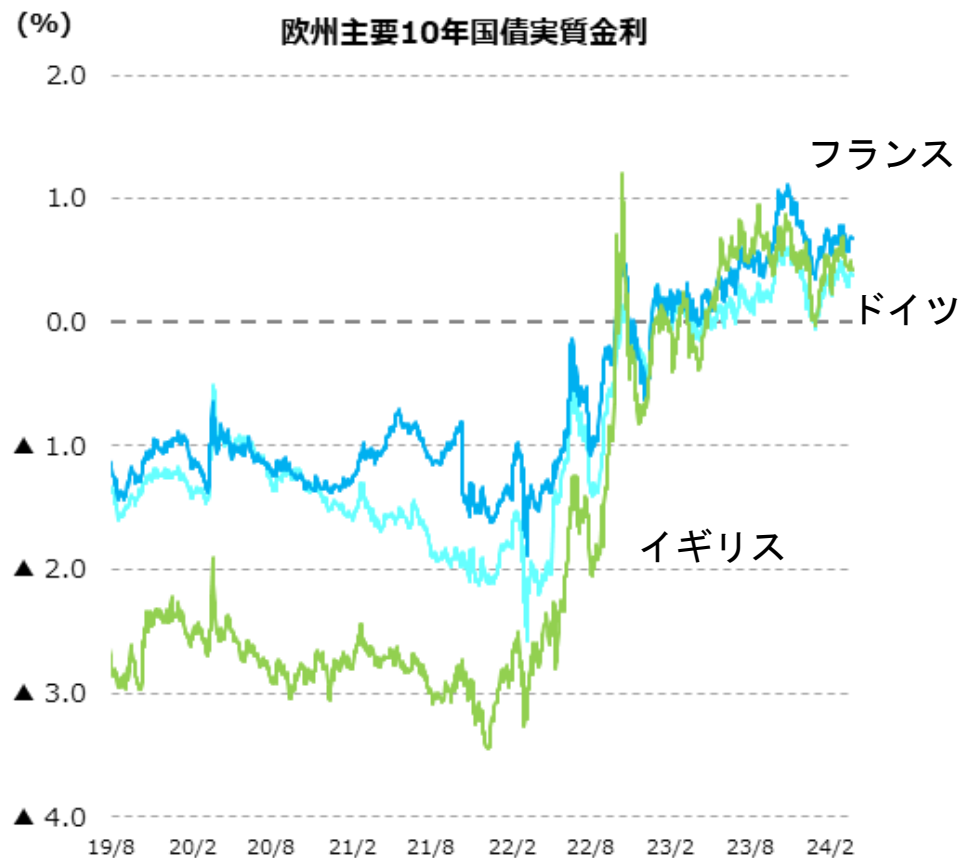
実質金利



- ・ 欧州の実質政策金利は1%超と引締め水準に到達し、利下げが正当化
- ・ 今後、インフレ率の低下に伴い、段階的に利下げ実施か



ECBはHICP、BOEはCPIより当社算出

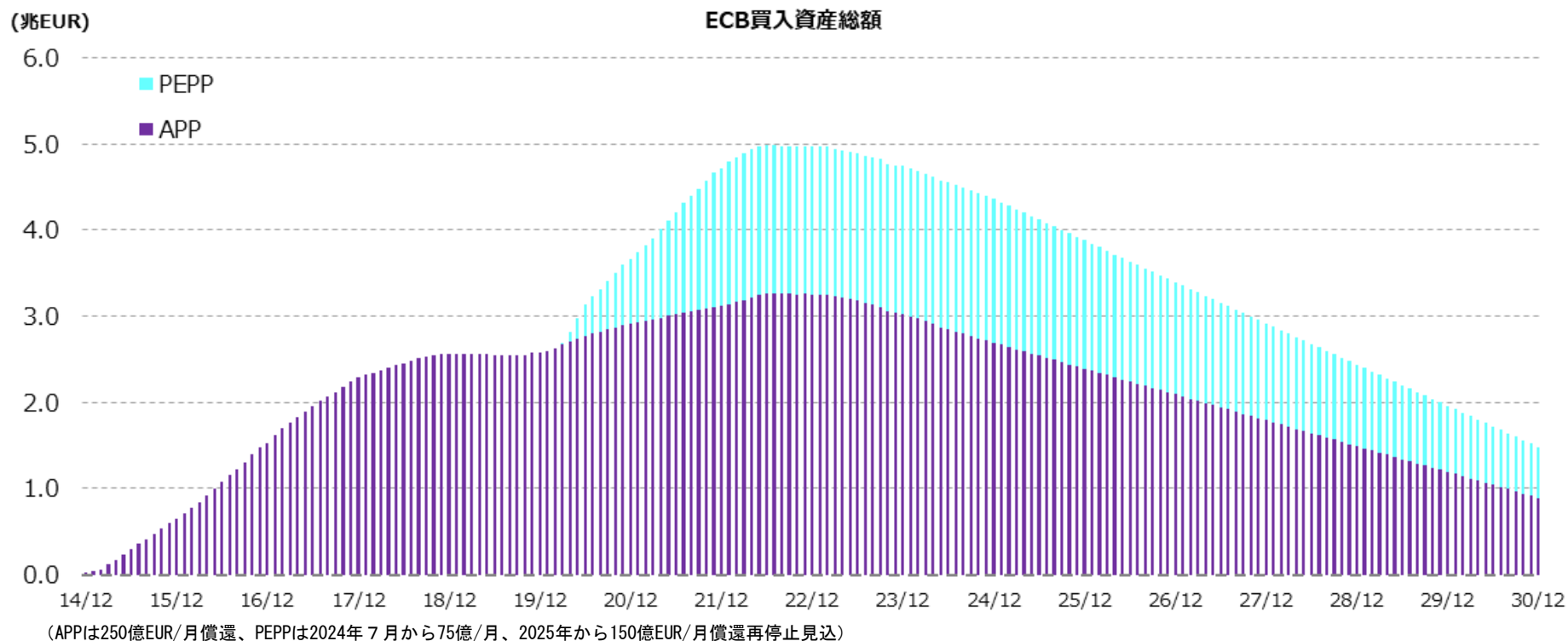


ブレイクイーブンインフレ率より当社算出

今後のECBバランスシート



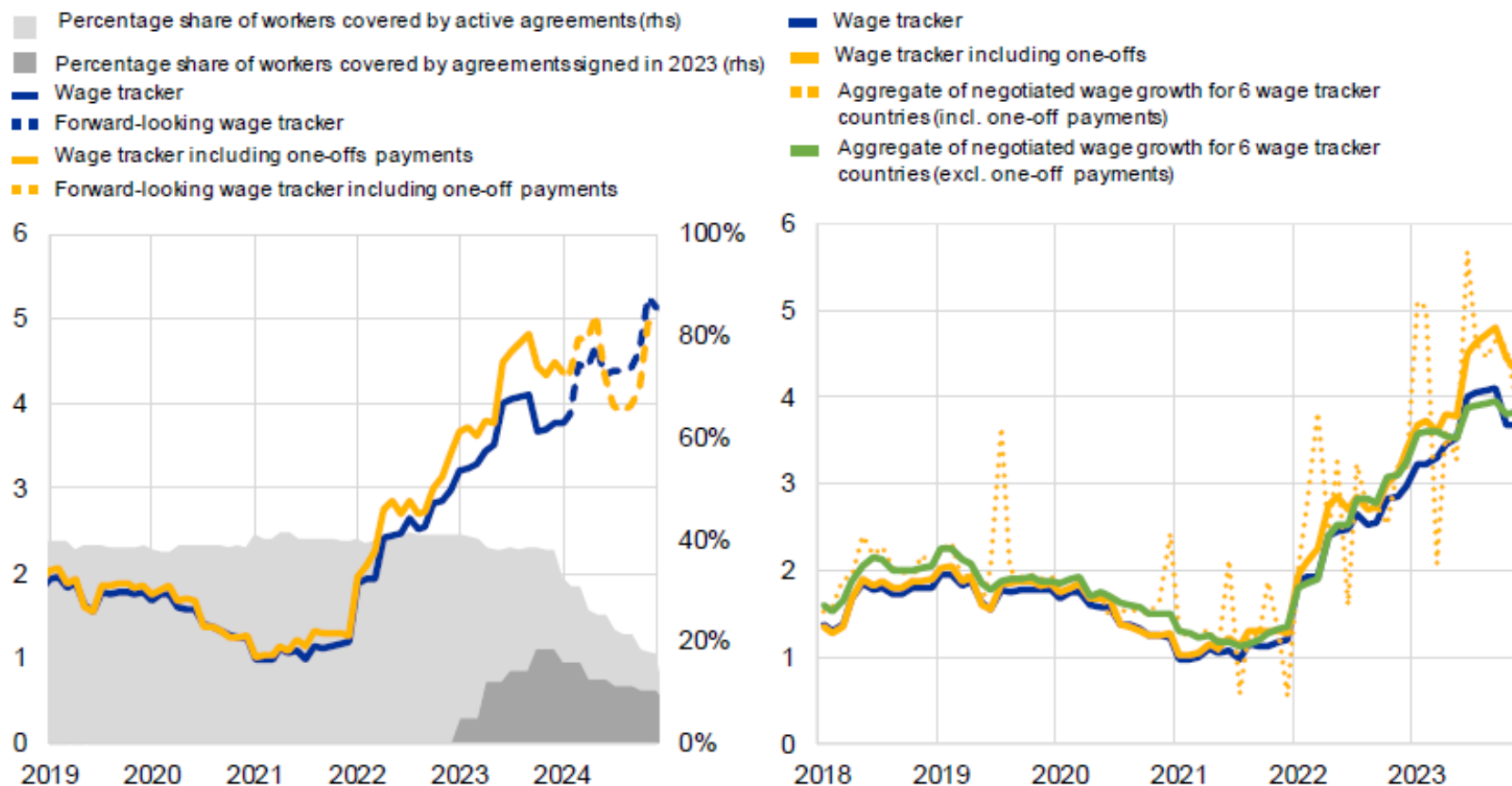
- ・ 現状ペースでQTが進行すると仮定した場合、コロナ前の水準（2-3兆ユーロ）に達するのは、2028年頃の見込み
- ・ 利下げとバランスシート縮小施策の同タイミングでの実施は今後の課題に



ユーロ圏の賃金トラッカー



- ・ ECBは賃金トラッカーを開発し、タイムリーな賃金動向を把握
- ・ 今後、1-3月のデータを通じ賃金のピークアウトを確認できるかが焦点



ECB政策金利見通し



- ・5月中旬発表予定の1-3月期妥協賃金データを確認し、6月に利下げ開始か
- ・コアインフレの下げ止まりを勘案し、四半期で25bpペースの利下げを想定

	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6
当社	4.00%	3.75%	3.50%	3.25%	3.00%	2.75%
A社 (日系)	4.00%	3.75%	3.25%	2.75%	2.50%	2.50%
B社 (米系)	4.00%	3.75%	3.50%	3.25%	3.00%	2.75%
C社 (英系)	4.00%	3.75%	3.75%	3.50%	3.25%	3.00%
D社 (仏系)	4.00%	3.75%	3.50%	3.25%	3.00%	2.75%
市場※	3.90%	3.77%	3.40%	3.07%	2.62%	2.59%

※市場のフォワードカーブから試算

10年独国債金利見通し



- ・ 利下げ織り込みにより2024年半ばにかけて緩やかに金利低下後、2025年にかけて景気回復を先取りしやや上昇か
- ・ QTや財政出動による発行増など国債需給への影響には留意が必要

	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6
当社	2.30%	2.20%	2.10%	2.00%	2.10%	2.20%
A社 (日系)	2.30%	2.10%	2.00%	1.90%	2.20%	2.40%
B社 (米系)	2.45%	2.35%	2.25%	2.10%	2.25%	2.25%
C社 (英系)	2.30%	2.00%	1.85%	1.75%	1.70%	1.65%
D社 (仏系)	2.30%	2.20%	2.20%	2.00%	2.00%	2.00%
市場	2.33%	2.31%	2.29%	2.28%	2.28%	2.30%

欧州大手金融機関の2023年度通期決算（英国）



- ・ 構造改革費用を計上したバークレイズは前期比減益
- ・ 同行以外は営業収入の増加により増収増益を確保

単位：十億円

	HSBCホールディングス		バークレイズ		ロイズ・バンキング・グループ		ナットウェストグループ		スタンダードチャータード	
純営業収入	9,570	21.0%	5,066	3.5%	3,449	18.7%	2,679	10.3%	2,647	9.6%
純金利収入	5,032	17.8%	2,223	19.9%	2,326	2.9%	1,925	13.8%	1,094	2.3%
非金利収入	4,539	24.6%	2,844	▲6.5%	1,124	74.2%	754	2.3%	1,553	15.5%
純金利利鞘	1.28%	0.2pt	1.51%	0.2pt	1.91%	0.0pt	2.11%	0.2pt	1.22%	0.0pt
営業費用	4,263	▲13.4%	2,961	1.0%	1,893	17.2%	1,398	4.0%	1,624	5.8%
貸倒引当金繰入	485	▲3.8%	329	59.2%	53	▲80.1%	101	71.5%	71	▲39.2%
税引前利益	4,266	77.9%	1,147	▲6.5%	1,312	56.9%	1,080	20.4%	716	18.8%
当期純利益	3,308	51.3%	920	▲11.3%	955	42.7%	811	29.2%	488	17.7%
総資産	427,967	3.0%	265,584	▲2.4%	158,445	0.9%	124,511	▲3.8%	115,889	0.4%
貸出金	133,743	1.6%	72,844	0.2%	81,512	▲1.3%	65,369	3.8%	39,175	▲4.6%
自己資本(CET1)	17,816	6.0%	8,503	0.9%	5,734	0.1%	4,393	▲2.2%	4,833	0.5%
不良債権比率	2.0%	▲0.0pt	1.8%	0.0pt	1.6%	▲0.1pt	1.5%	0.1pt	2.6%	▲0.0pt
CET1比率	14.8%	0.6pt	13.8%	▲0.1pt	14.6%	▲0.5pt	13.4%	▲0.8pt	14.1%	0.1pt

欧州大手金融機関の2023年度通期決算（フランス）



- ・ 政府による貯蓄口座の利率引き上げにより、利鞘が縮小しBPCEは減収減益
- ・ 同行以外は収入増加や貸倒引当金繰入の減少により増益を確保

単位：十億円

	BNPパリバ		クレディ・アグリコル		ソシエテ・ジェネラル		BPCE		BFCM	
純営業収入	7,762	12.4%	4,583	▲4.7%	4,496	▲5.6%	3,638	▲13.3%	2,441	15.2%
純金利収入	2,910	—	2,391	12.8%	1,567	▲19.7%	1,108	▲24.8%	1,292	34.3%
非金利収入	4,852	—	2,192	▲18.5%	2,929	4.2%	2,530	▲7.0%	1,150	▲0.8%
純金利利鞘	1.25%	—	0.84%	0.1pt	0.95%	▲0.3pt	0.56%	▲0.2pt	1.26%	0.1pt
営業費用	4,823	6.3%	2,150	▲3.0%	2,816	2.9%	2,482	▲9.7%	1,394	32.6%
貸倒引当金繰入	442	▲3.2%	270	1.8%	156	▲37.8%	263	▲13.5%	197	74.4%
税引前利益	1,782	▲11.3%	1,451	21.4%	779	21.0%	636	▲27.2%	861	46.3%
当期純利益	1,668	11.4%	965	16.8%	379	36.6%	426	▲29.0%	599	72.3%
総資産	403,821	▲2.7%	341,164	2.2%	242,160	4.7%	240,616	2.7%	142,318	32.4%
貸出金	138,433	2.0%	81,074	4.5%	75,771	▲4.2%	132,698	1.6%	—	—
自己資本(CET1)	14,476	1.2%	7,106	12.3%	7,963	4.9%	11,095	2.2%	—	—
不良債権比率	2.2%	▲0.0pt	2.6%	▲0.0pt	3.3%	0.1pt	—	—	—	—
CET1比率	13.2%	0.9pt	11.8%	0.6pt	13.1%	▲0.4pt	15.6%	0.5pt	18.5%	0.3pt

欧州大手金融機関の2023年度通期決算（ドイツ、スイス）



- ・ 貸倒引当金繰入の増加が響いたドイツ銀行は減益
- ・ UBSはクレディスイス買収に伴う特殊要因で大幅増益

単位：十億円

	ドイツ銀行		DZ銀行		コメルツ銀行		UBSグループ	
純営業収入	4,768	5.5%	—	—	1,582	2.8%	6,048	18.3%
純金利収入	2,068	▲0.4%	675	30.4%	1,276	29.3%	1,026	10.2%
非金利収入	2,701	10.5%	—	—	306	▲44.7%	5,023	20.1%
純金利利鞘	1.85%	▲0.1pt	—	—	—	—	0.78%	▲0.1pt
営業費用	3,298	6.4%	—	—	979	▲2.1%	1,389	▲60.4%
貸倒引当金繰入	229	22.8%	56	19.1%	94	▲29.5%	146	3475.9%
税引前利益	863	1.5%	497	41.6%	517	69.7%	4,205	211.5%
当期純利益	725	▲13.6%	348	66.6%	338	55.0%	4,080	280.4%
総資産	204,495	▲1.8%	100,507	2.6%	80,588	8.3%	241,902	55.5%
貸出金	76,540	▲3.0%	—	—	41,907	6.1%	93,264	63.1%
自己資本(CET1)	7,490	▲0.1%	—	—	4,005	7.5%	11,163	74.4%
不良債権比率	2.6%	0.2pt	—	—	1.8%	▲0.2pt	—	—
CET1比率	13.7%	0.3pt	15.5%	1.8pt	14.7%	0.6pt	14.5%	0.3pt

欧州大手金融機関の2023年度通期決算（オランダ）



- ・ ECBの利上げに伴う利鞘の拡大が続き、各行ともに大幅な増収増益を確保
- ・ 不良債権比率は低水準で安定

単位：十億円

	INGグループ		ラボバンク		ABNアムロ銀行	
純営業収入	3,639	19.9%	2,599	21.4%	1,379	10.3%
純金利収入	2,444	15.6%	1,780	28.0%	954	15.8%
非金利収入	1,195	29.6%	819	9.2%	425	▲0.3%
純金利利鞘	1.79%	0.2pt	2.47%	0.5pt	1.79%	0.3pt
営業費用	1,758	3.3%	1,492	8.5%	795	▲3.6%
貸倒引当金繰入	79	▲72.1%	111	111.3%	-24	▲505.1%
税引前利益	1,595	90.7%	906	68.6%	539	49.2%
当期純利益	1,108	98.3%	652	84.2%	410	44.5%
総資産	152,021	0.8%	95,645	▲2.3%	58,888	▲0.4%
貸出金	100,901	1.1%	66,499	0.8%	38,573	0.6%
自己資本(CET1)	7,301	▲2.3%	6,486	8.5%	3,117	2.5%
不良債権比率	1.8%	0.0pt	2.1%	0.0pt	1.9%	▲0.1pt
CET1比率	14.7%	0.2pt	17.1%	1.1pt	14.3%	▲0.9pt

欧州大手金融機関の2023年度通期決算（スウェーデン）



- ・ 中央銀行の利上げに伴う利鞘の拡大が続き、各行ともに大幅増益を確保
- ・ 不良債権比率は小幅に上昇も、水準は低位

単位：十億円

	SEB		スベンスカ・ハン デルスバンケン		スウェドバンク	
純営業収入	1,146	22.6%	843	23.1%	1,073	33.5%
純金利収入	629	42.1%	630	29.7%	677	53.6%
非金利収入	516	5.0%	212	6.9%	396	9.2%
純金利利鞘	1.53%	0.4pt	1.84%	0.3pt	2.07%	0.7pt
営業費用	414	8.8%	342	9.7%	368	13.9%
貸倒引当金繰入	13	▲52.1%	2	200.0%	22	13.2%
税引前利益	635	42.2%	481	35.4%	578	59.4%
当期純利益	505	41.8%	386	34.3%	452	56.0%
総資産	50,626	2.1%	49,638	2.4%	40,065	0.0%
貸出金	27,290	▲1.2%	31,945	▲1.2%	26,244	2.9%
自己資本(CET1)	2,390	4.5%	2,211	▲0.6%	2,254	11.5%
不良債権比率	0.5%	0.3pt	0.3%	0.3pt	0.4%	0.3pt
CET1比率	19.1%	0.1pt	18.8%	▲0.8pt	19.0%	1.2pt

欧州大手金融機関の2023年度通期決算 (フィンランド、デンマーク、ノルウェー)



- ・ 中央銀行の利上げに伴う利鞘の拡大が続き、各行ともに大幅増益を確保
- ・ ダンスケ銀行は前年のマネーロンダリングに関する罰金等の要因が剥落

単位：十億円

	ノルデア・バンク		ダンスケ銀行		DNBバンク	
純営業収入	1,922	18.7%	1,244	24.8%	1,130	24.0%
純金利収入	1,133	31.6%	658	27.3%	819	27.4%
非金利収入	790	4.2%	586	22.1%	311	15.6%
純金利利鞘	1.53%	0.3pt	1.28%	0.3pt	2.05%	0.4pt
営業費用	793	7.7%	601	▲33.4%	381	10.9%
貸倒引当金繰入	28	67.0%	5	▲82.6%	35	1073.9%
税引前利益	963	33.1%	544	1672.3%	671	24.3%
当期純利益	750	37.5%	434	564.2%	525	18.4%
総資産	91,111	▲1.7%	78,831	▲0.5%	47,892	6.4%
貸出金	51,167	▲1.1%	33,325	▲10.8%	27,602	3.7%
自己資本(CET1)	3,685	▲1.0%	3,247	4.1%	2,784	3.0%
不良債権比率	0.7%	0.1pt	2.1%	0.1pt	1.5%	▲0.1pt
CET1比率	17.0%	0.6pt	18.8%	1.0pt	18.2%	▲0.1pt

欧州大手金融機関の2023年度通期決算（スペイン、イタリア）



- ・ 中央銀行の利上げに伴う利鞘の拡大が続き、各行ともに大幅増益を確保
- ・ 不良債権比率は他国対比やや高いが、安定的に推移

単位：十億円

	サンタンデール 銀行		BBVA		インテザ・ サンパオロ		ウニクレディト	
純営業収入	9,706	9.6%	5,039	20.0%	3,878	3.3%	3,926	17.5%
純金利収入	6,662	12.1%	3,528	20.6%	2,226	47.8%	2,227	32.5%
非金利収入	3,044	4.4%	1,512	18.6%	1,652	▲26.5%	1,699	2.3%
純金利利鞘	3.16%	0.1pt	3.26%	0.3pt	1.72%	0.7pt	1.99%	0.6pt
営業費用	4,701	8.2%	1,928	15.4%	1,809	▲12.6%	1,883	6.9%
貸倒引当金繰入	1,963	18.9%	673	31.0%	232	▲40.7%	100	▲67.5%
税引前利益	2,502	7.9%	1,888	20.9%	1,701	86.3%	1,741	57.1%
当期純利益	1,684	15.3%	1,219	26.1%	1,174	77.4%	1,445	47.2%
総資産	280,028	3.6%	120,852	8.9%	150,149	▲1.1%	122,316	▲8.5%
貸出金	158,155	▲0.4%	60,588	5.5%	66,933	12.5%	65,141	▲5.5%
自己資本(CET1)	11,958	3.4%	7,184	7.9%	6,467	1.8%	7,154	▲10.7%
不良債権比率	3.5%	0.0pt	3.9%	0.0pt	2.7%	▲0.0pt	2.8%	▲0.0pt
CET1比率	12.3%	0.1pt	12.7%	▲0.0pt	13.7%	▲0.1pt	16.1%	▲0.5pt

ユーロ圏中小銀行の商業用不動産向けエクスポージャーの概要



- ・ ドイツや北欧の中小銀行が商業用不動産融資に積極的
- ・ 米国向けのエクスポージャーがある先を中心に今後もヘッドラインに注目か

単位：百万ユーロ

	総貸出 残高 (a)	CRE担 保付貸 出残高 (b)	うち 米国 向け	うち不 良債権 (c)	CRE/ 総貸出 (b)/(a)	不良債 権/CRE (c)/(b)	CET1に 対する (b)の 割合
ドイツ・ファンド・ブリーフ銀行	41,910	23,909	4,908	1,175	57.0%	4.9%	861.6%
ハンブルク・コマーシャル・バンク	18,294	6,132	69	250	33.5%	4.1%	200.3%
ユスケ・バンク	73,621	24,562	0	307	33.4%	1.2%	509.2%
バーデン・ヴュルテンベルグ州立銀行	204,857	43,505	6,188	550	21.2%	1.3%	322.4%
バイエルン州立銀行	192,393	31,898	2,551	740	16.6%	2.3%	282.5%
ヘッセン・テューリンゲン州立銀行	134,038	17,161	11,116	1,070	12.8%	6.2%	195.3%
(ご参考)							
ドイツ銀行	687,221	52,689	30,891	1,570	7.7%	3.0%	106.8%



[営業担当]

- ・河合 千宏 (chihiro.kawai@shinkin.co.uk)
- ・溝上 智広 (tomohiro.mizoue@shinkin.co.uk)

Shinkin International Ltd.

住所	: 1st Floor, 85 London Wall, London EC2M 7AD
ホームページ	: https://sil-uk.net
電話	: +44(国番号) - 20-7562-0500(代表)
	: +44(国番号) - 20-7374-4633(営業直通)
FAX	: +44(国番号) - 20-7256-8544
Eメール	: information@shinkin.co.uk

本資料は、信金インターナショナル(以下、「信金インター」と称します。)が、情報提供のみを目的として作成したものです。本資料に含まれる情報は、作成時点の公開情報および信金インターが信頼性が高いと考える情報源に基づいていますが、信金インターはその正確性または完全性について何ら表明または保証するものではありません。

本資料中の見解は信金インターの見解であり、変更される可能性があります。信金インターは、本資料中の見解または情報を更新する義務を負いません。信金インターおよびその関係会社ならびに各々の役員・従業員は、本資料またはその内容を使用したことにより直接的あるいは間接的に生じた損失について、いかなる責任も負いません。